

平成30年度第1回 外国人患者受入体制モデル構築事業調整会議

協議概要

- 1 開催日時 平成30年8月31日(金) 午後2時～4時
- 2 開催場所 京都ガーデンパレス「葵」
(京都市上京区烏丸通下長者町上ル龍前町605番地)
- 3 構成団体からの出席者 19名
- 4 協議概要

議事

- (1) 外国人患者受入体制モデル構築事業調整会議について 【資料1】
- (2) 訪日外国人患者受入体制の現状について
 - ・ 訪日外国人の状況について 【資料2】
 - ・ 国、東京都が実施したアンケートについて 【資料3】
 - ・ 訪日外国人の増加に関する国、府、各団体の取組について 【資料4】
- (3) 外国人患者の実態把握のためのアンケート調査について
 - ・ アンケート調査票について 【資料5】
 - ・ 意見交換

(4) その他

< 「(1) 外国人患者受入体制モデル構築事業調整会議について」の主な意見 >

- ・ 意見等なし

< 「(2) 訪日外国人患者受入体制の現状について」の主な意見 >

- ・ 診療体制の整った病院だけでなく、開業医1人で診療をしている診療所、特にホテルに近い診療所に多くの外国人患者が受診していることも課題。
- ・ 社会がグローバル化しているので、医療機関は言語の問題で診療するしないを判断せず、全ての外国人患者を受け入れるべき。
- ・ 医療機関での訪日外国人の対応は増加しており、スマホ等で対応していると聞いている。
- ・ 入院患者に対しては24時間、夜間でも対応が必要だが、通訳サービスの有無などコミュニケーションの問題を解消する方法を見つけるのは難しい。
- ・ 自分で意思を発しづらい小児、特に乳児への対応は難しい。また、医療の詳しい説明を理解できるかも気がかり。
- ・ 訪日外国人で観光地の混雑等が発生しており、受入環境の整備の重要性が高まっている。
- ・ 訪日外国人向け海外旅行保険について、損害保険会社からほとんど売れてないと聞いている。そもそも保険に入らない文化の国の方に加入していただくことが困難。

- ・最近では小さなホテル等でも国際会議が開催されており、国際会議の開催に慣れていない施設に対し、関係団体・行政等が連携して訪日外国人向けの各種取組の周知等を図ることが重要。
- ・訪日外国人については言葉の壁だけでなく、未収金対策やハラル等の食事の問題も重要。
- ・訪日外国人はトラブルに遭われた場合、真っ先に宿泊施設のフロントに相談する。宿泊施設は京都市作成の外国人受入医療機関の冊子などの資料で対応しているが、小さな旅館などは外国語の対応が厳しい。外国人受入医療機関のハザードマップ的な資料があれば、訪日外国人に確実に対応できる。
- ・救急現場の声によると、外国人への対応は「電話通訳サービス」、「四ヶ国語対応シート」、「多言語音声翻訳アプリ」で概ね可能。最も簡便で使い勝手が良いのが「四ヶ国語対応シート」である。
- ・訪日外国人が怪我をした場合に、1人しかいない観光協会の外国人職員が対応に専従せざるを得なかったため非常に困った。行政でできることは限界があるので、訪日外国人自身がしていただけることを情報発信することが重要。

＜「（３）外国人患者の実態把握のためのアンケート調査について」の主な意見＞

- ・医療機関への外国人医療の調査では「外国人」の定義をしっかりと規定することが重要。医療機関は受診の際に訪日外国人や在留外国人という区分で登録しておらず、特定が難しい。
- ・宿泊施設のの違いで外国人の支払い状況が違うと感じている。できれば、受診者の宿泊している施設の種類ごとに支払い状況を把握していただきたい。
- ・外国人患者の使うクレジットカードの種類等の支払方法を詳しく把握する必要がある。医療機関は中国系のクレジットカードになかなか対応していないのでアンケート項目に含めていただきたい。
- ・医療機関は訪日外国人・在日外国人等を区分していないので、調査に当たっては医療機関に負担のかからないようお願いしたい。
- ・外国人の未収金は、国民保険に加入している日本人が未収金になる場合と条件が異なるため、未収率が日本人より多いか、どう違うのかも丁寧に把握する必要がある。
- ・医療機関ごとに受診者全体に外国人が占める割合、訪日外国人の受診者の未収率（と日本人の受診者の未収率）を把握してはどうか。
- ・訪日外国人へのアンケート調査について、旅行保険の加入時期と、加入した理由・加入しない理由を把握してはどうか。

＜「（４）その他」についての主な意見＞

- ・行政機関に対しては、医療機関における窓口対応への支援や、院内の橋渡し等を担う医療コーディネーターの養成への支援をお願いしたい。
- ・感染症（麻疹等）に感染した外国人が京都に来ているので対応を検討していただきたい。違法な民泊での感染症発生を危惧する。